

【インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム シーズ調査票】

Q1.狭隘部、曲線部、急勾配部等の砂利舗装の碎石流出防止対策について、実証実験において提案可能な技術等を教えてください。

(提案する技術等が複数の場合は、適宜シートを増やしていただいて構いません。)

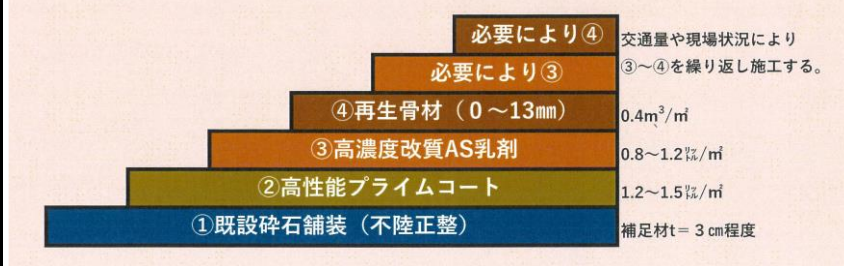
技術概要
改質アスファルト乳剤を用いた碎石流出防止対策

※提案する技術の概要を記載願います。

概要説明

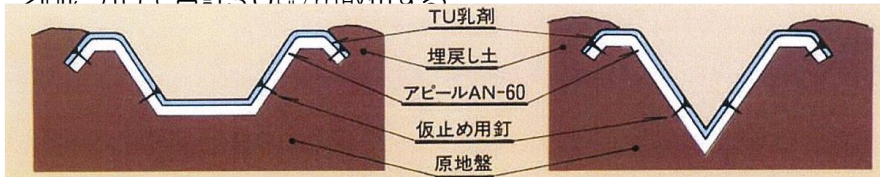
【改質アスファルト乳剤による乳剤舗装】

- ①不陸整正
一般的な路盤材を用いて現状砂利道の不陸を整正する。
 - ②高性能プライムコート（プライムファイン）の散布
浸透性の高い改質アスファルト乳剤を散布する事により路盤（碎石層）を強化する。
 - ③高濃度改質アスファルト乳剤（カチオンGS-SH）の散布
高濃度であるため急勾配箇所においても必要量を散布することができる（残留固形分確保）
骨材は握力が大幅に改善され、曲部や急勾配部の耐久性が向上する。
 - ④再生骨材の散布および転圧
東北エリアにおいて再生骨材が溢れている地域が散見されるため有効利用する。
- ※③～④を繰り返し施すことにより乳剤舗装の耐久性が向上する。
交通量が比較的多い現場や使用箇所（曲部・急勾配部）などに適用。



【改質アスファルト乳剤による仮排水路】

- ①仮排水路の掘削整形
従来の素掘り側溝と同じ方法で掘削する。
- ②不織布の布設
下流側から上流に向かって布設し釘で固定する。
- ③TU乳剤（高濃度改質アスファルト乳剤）の散布
2回に分けて合計3.0%/m²散布する



仮排水路の断面図

※提案する技術について、簡単に記載願います。図や表を用いても構いません。
パンフレットの写し（PDF）、HPの紹介などの添付でも構いません。
（ファイル合計20MB未満）